



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.10月号

寄贈品コーナー展示

## 「新しい神奈川県植物誌と湘南の花」

展示期間：10月3日(木)～10月29日(火)



神奈川県内の植物相調査の集大成『神奈川県植物誌 2018』が昨年刊行されました。この『神奈川県植物誌 2018』は神奈川県植物誌調査会の第3期調査が基になって作成されています。

今回の展示では、湘南エリア（二宮・大磯・平塚・中井・秦野・伊勢原・寒川・藤沢）の調査を行った神奈川県植物誌調査会湘南ブロックの会員の協力を得て、『神奈川県植物誌 2018』とともに、調査エリアで見られる花を写真で紹介します。

写真 左上) コウボウムギ (撮影：富岡真理子) 右上) ハナネコノメ (撮影：浜岡史子)  
左下) フデリンドウ (撮影：富岡真理子) 右下) ヤマユリ (撮影：金井和子)

10月のプラネタリウムは工事のためお休みしています。  
再開は11月2日(土)です。

## 平塚南原と小川一真 写真乾板創成の地

会期：10月5日(土)～10月27日(日)

明治から大正にかけて活躍した写真家・実業家である小川一真(オガワ カズマサ 1860-1929)について、その業績を紹介します。

写真乾板の国産化を目指した小川は1907年「日本乾板株式会社」を設立し、平塚南原の地に敷地面積1万5千坪に及ぶ工場を建設しました。残された13枚のガラス乾板を中心に、小川が平塚で過ごした後半生を中心に、関連資料とあわせて展示をします。



ガラス乾板に焼付けられていた「五姓田芳柳氏大鎧着初式侍の一部」。明治43年に小川が発行した写真集に掲載。

## 自然教室「カタツムリ観察会」

カタツムリは6月?いえいえ、秋の長雨の10月も観察に適した時期なのです。

最近市街地ではめっきり見る機会の減ってしまったカタツムリを里山で探してみませんか?

カタツムリは湿り気の多い時の方が動きが活発で見つけやすいので、少雨決行で開催します。ハイキングコースを歩きますので、汚れてもいい歩きやすい靴と雨具をもってご参加ください。

いい雨(小雨)が降りますように!

日 時：10月19日(土) 午前9時30分～午前11時30分(予定)

講師：福田良昭氏(貝類研究者) 場所：吉沢

申込：往復はがき、またはeメール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に、行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。

締切：10月10日(木)(消印有効、メールの場合は同日中)

定員：10名(応募多数時抽選)雨天決行、荒天時中止。



ヒダリマキマイマイ

## 相模川流域ジオツアー入門

毎年好評をいただいている「相模川流域ジオツアー入門」は、相模川流域を中心とした地域の地形や地層、そこに根付いた人々の文化や歴史について、直接その目で観察することで学ぼうという企画です。今年度の第2回は黒部丘～達上ヶ丘を歩きます。起伏のある黒部丘の地形はなぜできた?地下を通るかつての金目川流路とは?達上池はなぜ池なのか?・・・などの謎に迫ります。



第2回「金目川の古流路」

場所：黒部丘～達上ヶ丘

日時：10月19日(土) 午後1時～午後4時

申込：往復はがき、またはeメール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に、行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。

締切：10月8日(火)(消印有効、メールの場合は同日中)

定員：20名(応募多数の場合抽選)

備考：雨天時中止

←達上池の誕生には金目川(渋田川)が関係しています(達上ヶ丘)

# 新年間会員制ワーキンググループ 「生き物ズームプロジェクト」会員募集

「野外で気軽にディープな観察を楽しむ」をテーマにした調査研究会です。まずはルーペを用いた観察から始まり、最終的にはガイドブックの作成を目標にしています。

じっくりいろんな生き物を観察したい、自分が見たものを人に伝えたい、そんな方のご参加をお待ちしています。

(プランクトンやコケなど顕微鏡を用いる観察は対象外です。)

活動：月1回 日曜日 博物館または野外 対象：中学生以上

初回：10月27日(日) 午後1時～午後3時 博物館科学教室

申込：往復はがき、またはeメール(muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp)に、行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。

締切：10月18日(金) (消印有効、メールの場合は同日中)

定員：15名 (応募多数時抽選)



## 石仏見学会

### 小鍋島と城所の石仏めぐり

石仏を調べる会の案内と解説で、平塚市小鍋島と城所の石造物を訪ねます。小鍋島には路傍の道標が多く、城所では浄心寺で様々なタイプの観音さまを拝観できるなど、見どころたっぷりのコースです。石仏の見方や種類、石仏に込められた願い、建立年代による石仏の移り変わりなどを学んでみませんか。

日時：10月27日(日) 午前9時40分～12時30分

場所：小鍋島路傍～城所路傍～浄心寺～貴船神社

申込：往復はがき、または muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp に、行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申し込みください。

締切：10月17日(木)

(消印有効、メールの場合は同日中)

定員：20名 (応募多数の場合抽選)

雨天：10時から博物館講堂で石仏の解説を行います。

#### 城所浄心寺の千手観音

天明5年(1785)建立  
基礎正面に「当所観音講中」、  
右面に「相模三十二番 補  
陀落山城所寺」と刻まれている。  
江戸時代は城所寺の境内に観音堂があった。本尊は千手観音で、相模観音霊場の第32番札所だった。昭和30年代後半に観音堂は境内の石造物とともに浄心寺へ遷された。写真の千手観音もそのひとつである。



## 考古学入門講座 『古墳の視点』

考古学入門講座は、考古学という研究分野の基礎知識を学ぶことによって、地域の歴史の再発見や歴史を正しく読みとるための、初心者向け講座です。

さて今年7月、大阪府にある「百舌鳥・古市古墳群」が世界遺産に登録されることが決定しました。これらの49基の古墳は、日本の古代史を考えるうえでとても重要なものです。

そこで今年の考古学入門講座は、「古墳」を取り上げます。全3回にわたって、古墳の出現からその衰退まで少々マニアックなこともはさみつつ、解説します。



塚越古墳 こうして見ると地味ですが・・・

会場：平塚市博物館 講堂

参加：自由(定員50名 先着順 開場は30分前)

第1回「弥生から古墳へ」

内容：時代の間を考える

日時：10月26日(土) 午前10時～11時30分

第2回「巨大古墳の世紀」

内容：古墳の盛行と新しい文化

日時：11月23日(土) 午前10時～11時30分

第3回「古墳の終焉と大化の改新」

内容：古墳はなぜ作られなくなったのか

日時：12月21日(土) 午前10時～11時30分

10月		11月	
1 火		1 金	古文書講読会 講堂
2 水		2 土	◎ 特別展展示解説 特別展示室 ☆
3 木	展示解説ボランティアの会 特別研究室	3 日	平塚の古代を学ぶ会 科学教室 ☆
4 金	古文書講読会 講堂	◎ 星空散歩 プラネ	
5 土	平塚学講座 講堂	4 月	
6 日	平塚の古代を学ぶ会 科学教室	5 火	休館
	天体観察会 天文学分科会 特別研究室	6 水	
7 月	休館	7 木	展示解説ボランティアの会 特別研究室
8 火		8 金	古文書講読会 講堂
9 水			お囃子研究会 講堂
10 木	古代生活実験室 科学教室	9 土	東国史跡踏査団 講堂(雨天)
	石仏を調べる会 講堂		天体観察会 天文学分科会 特別研究室 ☆
11 金	古文書講読会 講堂	10 日	◎ 館長の星空解説 プラネ ☆
	お囃子研究会 講堂	11 月	休館
	◎ 星を見る会 科学教室/屋上	12 火	◎ イブニングミュージアム 歴史 ▲ 講堂 ☆
12 土	東国史跡踏査団 講堂(雨天)	13 水	◎ イブニングミュージアム 美術 講堂 ☆
	平塚学講座 特別研究室		◎ イブニングミュージアム 考古 講堂
13 日	天体観察会 流星分科会 特別研究室	14 木	古代生活実験室 科学教室 ☆
	○ ピンホール写真体験教室 科学教室		石仏を調べる会 講堂
14 月		15 金	◎ イブニングミュージアム 地質 講堂 ☆
15 火	休館		古文書講読会 講堂
16 水	裏打ちの会 科学教室		◎ 星を見る会 科学教室/屋上
	民俗探訪会 相模原市	16 土	◎ イブニングミュージアム 民俗 講堂 ☆
17 木	展示解説ボランティアの会 特別研究室		地球科学野外ゼミ 特別研究室 ☆
	○ きこの観察会 野外		○ 自然教室 科学教室
18 金	古文書講読会 講堂	17 日	◎ イブニングミュージアム 天文 講堂 ☆
19 土	○ 相模川流域ジオツアー入門 野外		◎ 星空音楽館 プラネ
	お囃子研究会 講堂	18 月	休館
	○ 自然教室「カタツリ観察会」 野外	19 火	
20 日	平塚学講座 野外	20 水	裏打ちの会 科学教室
21 月	休館	21 木	民俗探訪会 講堂
22 火		22 金	展示解説ボランティアの会 特別研究室
23 水			古文書講読会 講堂
24 木	石仏を調べる会 講堂		聞き書きの会 特別研究室
25 金	古文書講読会 講堂	23 土	◎ 考古学入門講座 講堂 ☆
	聞き書きの会 特別研究室		◎ 湘南地球科学の会 講堂
26 土	◎ 考古学入門講座 講堂		地域史研究ゼミ 特別研究室
	地域史研究ゼミ 特別研究室		平塚の空襲と戦災を記録する会 特別研究室
	平塚の空襲と戦災を記録する会 特別研究室	24 日	○ イーハートブの宝石図鑑を作ろう 科学教室 ☆
	地球科学野外ゼミ 科学教室		生き物ズームプロジェクト 講堂
27 日	○ 石仏見学会「小鍋島と城所の石仏めぐり」 野外		天体観察会 定例会 講堂
	生き物ズームプロジェクト 科学教室		天体観察会 太陽分科会初心者コース 講堂
28 月	休館	25 月	休館
29 火	天体観察会 太陽分科会初心者コース 講堂	26 火	天体観察会 太陽分科会 特別研究室
30 水		27 水	
31 木	月末休館日	28 木	石仏を調べる会 講堂
		29 金	
		30 土	お囃子研究会 講堂 ☆
			天体観察会 流星分科会 特別研究室

プラネタリウム休演(11月1日まで)  
 平塚南原と小川一真 写真乾板創成の地(10月27日まで)  
 新しい神奈川県植物誌と湘南の花(10月29日まで)  
 写真乾板創成の地(10月27日まで)

賢治がみつめた石と星(1月13日まで)  
 賢治がみつめた石と星(1月27日まで)  
 高校生が「一から調べた秦野の歴史」大藤氏・矢倉沢往還(1月11日まで)

新着資料展 2 自然 →

10月の休館日：7日、15日、21日、28日、31日

【10月の行事】

◎星を見る会「十三夜のお月見をしよう」  
 内容：日本独自のお月見である十三夜の名月を望遠鏡で楽しみましょう。  
 日時：10月11日(金) 午後7時～午後8時30分  
 会場：科学教室・屋上  
 備考：小学生以下は保護者同伴 参加：自由・無料

【10月の展示】

■寄贈品コーナー展示 (会場：平塚市博物館1階寄贈品コーナー)  
 「新しい神奈川県植物誌と湘南の花」10月3日(木)～10月29日(火) 1頁参照  
 ■情報コーナー展示 (会場：平塚市博物館2階情報コーナー)  
 「平塚南原と小川一真 写真乾板創成の地」10月5日(土)～10月27日(日) 2頁参照

プラネタリウム休演  
 11月1日(金)まで

【特別展予告】

冬期特別展「賢治がみつめた石と星」  
 令和元年11月2日(土)～令和2年1月13日(月祝)  
 宮沢賢治作品に登場する岩石鉱物や天体を紹介しつつ、彼の作品を自然科学的な視点で読み解きます。ぜひご来場ください。

